

経営比較分析表（令和4年度決算）

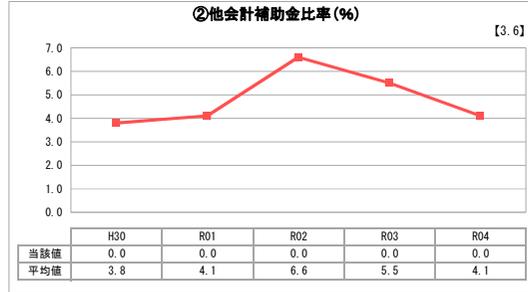
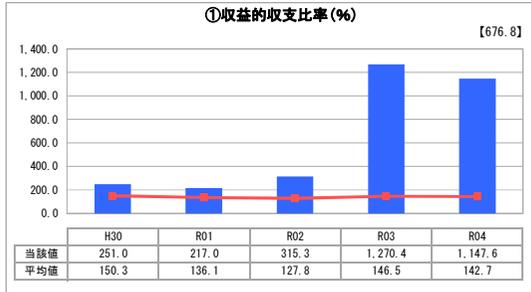
長崎県長崎市 長崎市民会館地下駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場 届出駐車場	地下式	49	

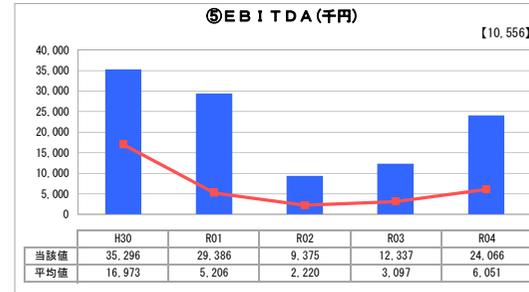
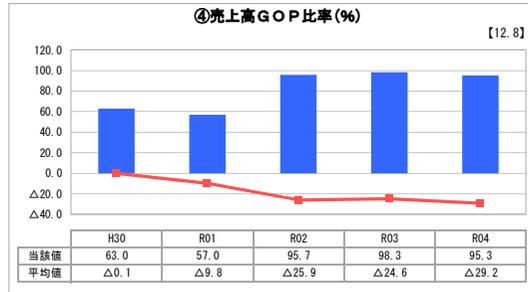
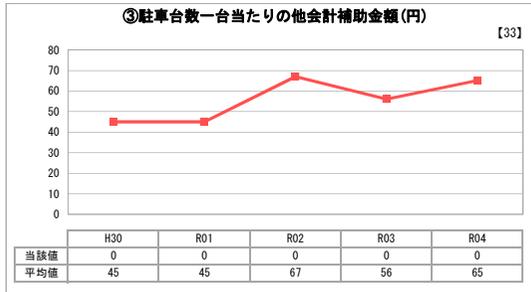
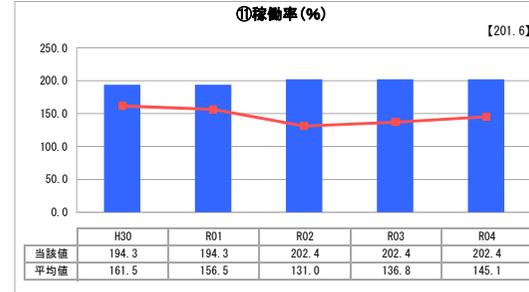
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
公共施設	有	6,617
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
168	270	利用料金制

グラフ凡例	
■	当該施設値(当該値)
—	類似施設平均値(平均値)
[]	令和4年度全国平均

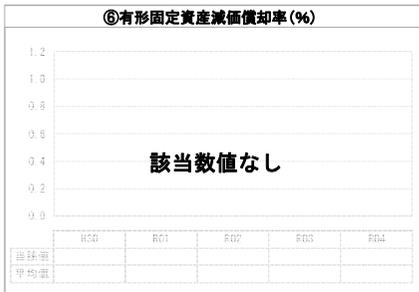
1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

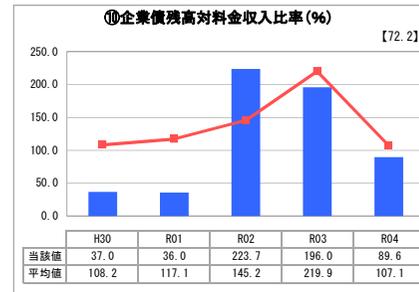
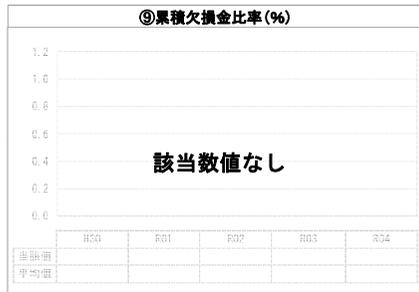


⑦敷地の地価(千円)

933,947

⑧設備投資見込額(千円)

27,500



分析欄

1. 収益等の状況について
 収益は黒字となっており、また、他会計からの補助もないため、安定した経営状況となっている。新型コロナウイルス感染症の影響からも徐々に回復しており、今後も健全な経営を続けていくためには、将来の施設のあり方を踏まえて、施設の更新・投資に充てる財源を計画的に確保していく必要がある。

2. 資産等の状況について
 一定の収益が継続して見込める状況ではあるが、料金収入に対する企業債務高の割合が高く、必要な更新投資をより適切に行っていく必要がある。躯体等の改修については、平成27年度に調査をし、緊急性のある損傷はないとされているが、長寿命化に向けた対応として、予防保全対策など改修を実施していく。

また、精算機は令和2年度から指定管理者の利用料金制導入に伴い、指定管理者に精算機を設置させるなど、機器の更新について、導入及び維持管理経費削減を行うとともに、耐用年数や状況をみながら計画的に維持管理・更新を行っていく。

3. 利用の状況について
 全国平均や類似施設平均と比べても高い数値となっており、施設の利用状況は健全であるといえる。

全体総括

収益は黒字となっており、おおむね健全な経営状況である。今後も健全な経営を続けていくために、指定管理者制度（令和2年度から利用料金制を導入）による利用者サービスの向上及び増収対策に努めるとともに、施設の更新・投資に充てる財源を計画的に確保していく。